

カリタスジャパンより フィリピン台風救援募金のお願い

11月8日、観測史上最大と言われる台風「ハイヤン」がフィリピンを襲いました。同国中部の島々に上陸したこの台風は、各地でも大きな爪痕を残し、初期の段階の見積もりでも一つの州だけで1万人もの死者、そして数百万人の避難者が報告されています。

この台風による被災地には、マグニチュード7.3の大地震の被害を受けたばかりの地域も含まれています。

最大の被災地では、送電線、電話線、電波塔がすべて倒壊し、通信が非常に困難となっていますが、そのような中、カリタスフィリピンは、カリタス米国と共にスタッフを派遣し、緊急救援の準備を行っています。

カリタスジャパンは、国際カリタス及び現地カリタスと協力して支援を行っていきます。被災状況、国際カリタスの救援活動については、詳細がわかり次第ホームページなどでお知らせ致します。募金受け付け口座は次の通りです。

郵便振替番号：00170-5-95979
加入者名：カリタスジャパン
通信欄 □呼びかけ中の募金()内に、
〈フィリピン台風〉とご明記ください。



12月2日(月)、カテドラルに集った司祭、修道者そして多くの信徒は、教皇大使の言葉に耳を傾けた。まず大使は、「キリスト者の生活は洗礼、堅信を土台としており、それによりすべての人は聖性に招かれている。主は私たちに福音を通して、どのように「聖」となるかを示された。聖性への道は神の国すなわち、モ

「私は平和を買いたい。なぜならこの世界に平和はなく、争いや暴力ばかりだから。また私は愛を買いたい。なぜなら、この世界には憎しみが多すぎるから。私は喜びを買いたい。なぜなら、この世には悲しみが多すぎるから。」天使は、この男の注文を聞いて言う。「お客様、私どもは平和や愛、そして喜びそのものはここには置いておりません。ただそれらの小さな種は販売しております。もし、あなたがそれらの種をお買い求めたいならば、家にお帰りになり、その種を植えるなら、それらは大きく成長して平和と愛と喜びが実るでしょう」と。この逸話からキリスト者とは何に召されているか、自分が受けたものを人々に伝え、実りをもたらすために行動するよう促した。



教皇庁大使ヨゼフ・チエノツトウ大司教教区公式訪問 カテドラルにて福岡教区の神の民のために講演とミサ主司式

「私は平和を買いたい。なぜならこの世界に平和はなく、争いや暴力ばかりだから。また私は愛を買いたい。なぜなら、この世界には憎しみが多すぎるから。私は喜びを買いたい。なぜなら、この世には悲しみが多すぎるから。」天使は、この男の注文を聞いて言う。「お客様、私どもは平和や愛、そして喜びそのものはここには置いておりません。ただそれらの小さな種は販売しております。もし、あなたがそれらの種をお買い求めたいならば、家にお帰りになり、その種を植えるなら、それらは大きく成長して平和と愛と喜びが実るでしょう」と。この逸話からキリスト者とは何に召されているか、自分が受けたものを人々に伝え、実りをもたらすために行動するよう促した。

また司祭たちに向けて、「あなたがたは、キリストの名において『教える』という務めを叙階の秘跡によって与えられている。あなたがたに与えられ、伝えられた教えを喜びをもって伝えなさい。主の教えを黙想し、読んだことを信じ、信じたことを教え、教えることを実行しなさい」と司祭団に対して諭した。



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 一部60円

1月の意向
【一般】経済発展
【宣教】キリスト者の一致
【日本の教会】いのちの尊厳
教皇様の意向のために祈りましょう

12月2日午後、駐日教皇庁大使は福岡教区公式訪問最後の行程として美野島司牧センターを訪問した。当センターを拠点に働くボランティアグループのスタッフが迎える中、予定よりも早く到着。その日は翌日の炊き出しの準備に多くの市民ボランティアが働いていたが、皆に握手とともに笑顔で挨拶を交わした。

視察の後には、2階のホールに準備された親睦の場へ移り、ささやかな飲み物とともに和やかな会話が交わされた。大使の言葉は、「教皇の言葉

「私は平和を買いたい。なぜならこの世界に平和はなく、争いや暴力ばかりだから。また私は愛を買いたい。なぜなら、この世界には憎しみが多すぎるから。私は喜びを買いたい。なぜなら、この世には悲しみが多すぎるから。」天使は、この男の注文を聞いて言う。「お客様、私どもは平和や愛、そして喜びそのものはここには置いておりません。ただそれらの小さな種は販売しております。もし、あなたがそれらの種をお買い求めたいならば、家にお帰りになり、その種を植えるなら、それらは大きく成長して平和と愛と喜びが実るでしょう」と。この逸話からキリスト者とは何に召されているか、自分が受けたものを人々に伝え、実りをもたらすために行動するよう促した。

「私は平和を買いたい。なぜならこの世界に平和はなく、争いや暴力ばかりだから。また私は愛を買いたい。なぜなら、この世界には憎しみが多すぎるから。私は喜びを買いたい。なぜなら、この世には悲しみが多すぎるから。」天使は、この男の注文を聞いて言う。「お客様、私どもは平和や愛、そして喜びそのものはここには置いておりません。ただそれらの小さな種は販売しております。もし、あなたがそれらの種をお買い求めたいならば、家にお帰りになり、その種を植えるなら、それらは大きく成長して平和と愛と喜びが実るでしょう」と。この逸話からキリスト者とは何に召されているか、自分が受けたものを人々に伝え、実りをもたらすために行動するよう促した。

「私は平和を買いたい。なぜならこの世界に平和はなく、争いや暴力ばかりだから。また私は愛を買いたい。なぜなら、この世界には憎しみが多すぎるから。私は喜びを買いたい。なぜなら、この世には悲しみが多すぎるから。」天使は、この男の注文を聞いて言う。「お客様、私どもは平和や愛、そして喜びそのものはここには置いておりません。ただそれらの小さな種は販売しております。もし、あなたがそれらの種をお買い求めたいならば、家にお帰りになり、その種を植えるなら、それらは大きく成長して平和と愛と喜びが実るでしょう」と。この逸話からキリスト者とは何に召されているか、自分が受けたものを人々に伝え、実りをもたらすために行動するよう促した。

かねてより移築・再建が進められていたザビエル聖堂は、11月16日に献堂式を執り行うことができた。主司式を務めてくださった原司教様、鹿兒島から駆けつけてくださった郡山司教様はじめ、共同司式の神父様方350人を超える参列者の皆様に、心から感謝したいと思います。また計画から10年、工事開始から6年半という長期プロジェクトを

この聖堂は、戦災によって鹿兒島司教座聖堂が焼失したため、1949年に新築されました。ちょうどザビエル渡来400年の節目ということもあり、世界10か国から75人の巡礼団が参列する中、教皇特使であるギルロイ枢機卿の司式によって荘厳な献堂式をお祝いした由緒ある聖堂です。再建当初は、建築学的な

視点から文化財として保存する予定でしたが、検討を重ねた結果、黙想の家の第三の聖堂として活用する道が開かれたのです。鹿兒島の皆様の50年に及ぶ祈りが詰まった聖堂の空間は、訪れる人を祈りへと導く静謐な雰囲気には満ちています。当面は、第2・第3日曜日の10時半から御ミサをささげることを軸とし、宣教を目的とした講演会などを開催していく予定です。皆様のお越しをお待ちしています。

南アフリカのネルソン・マンデラ氏が逝った。偉大な政治家というより、偉大な魂の持ち主だと思う。27年に及ぶ獄中生活の後、大統領となりこの国を大きく変えた。それは、お金の力でも、大統領という権力でもない。彼の信念から出てくるゆるし、非暴力、和解、などの思想によるものである。彼は、刑務所の中で考え、学び、分析しながら戦術を立てた。釈放時には大統領になる準備が出来ていた、と言う。「語録」にある次のような文章が目にとまった。「刑務所から出た時、私の使命は抑圧された人々と抑圧する人々の双方を抑圧から解放することだった。」また「肌の色や育ち、信仰の違いを理由に他人を憎むように生まれつく人などいない。人は憎むことを学ぶものだ。もし、憎むことを学べるなら、愛することも学べる。愛は憎しみより自然に人間の心に届くはずだ。」日本のメディアはこの偉大な元大統領の死をそれほど大きく取り上げなかった。しかし、世界各国の現職、引退政治家たちをはじめダラ・イ・ラマ、ツツコ教皇として、勿論フランシスコ教皇もコメントを発表した。マンデラ氏の思想とその生涯は、まさに力をもって物事を解決しようとする現代世界に大きな影響を与えたのである。憎悪や暴力は、同様のあるいはそれ以上の憎悪と暴力の連鎖を生み出す。しかし、ゆるし、和解そして愛は人々に真の幸福へと導くことを教えてくれた。新しい年に入り、紛争や自然災害の絶えない昨今、今年こそは、マンデラ氏に倣い、平和な世界を創っていかう。

最後の訪問地・美野島司牧センター
教皇の言葉がここに実現されている！
12月2日午後、駐日教皇庁大使は福岡教区公式訪問最後の行程として美野島司牧センターを訪問した。当センターを拠点に働くボランティアグループのスタッフが迎える中、予定よりも早く到着。その日は翌日の炊き出しの準備に多くの市民ボランティアが働いていたが、皆に握手とともに笑顔で挨拶を交わした。

司祭人事異動
◆人吉・八代小教区管理者
W・デンニ(12月より来年3月まで)
◆管区本部へM・オフアレ(人吉教会主任)

第二バチカン公会議による教会①

わたしがいる大名町教会では、毎朝6時ごろ門を開け、毎晩9時ごろに閉めた。着任以来、いろいろな出来事があり、助任神父様の協力を得て、段々と戸締りを徹底するようにしてきました。またこれまで様々な人々を教会堂から文字通り追い出してしまいました(締め出された方には、すみません)。そしてとうとう先日、防犯カ

メラを設置しました。これは、何も教会に入ってくる人たちを監視しようということではなく、最近続いて被った損害に正直少々腹が立ち、また責任を感じて、教会堂を守るためには仕方がないと思いついたのです。

でも防犯カメラ導入をほぼ決めたとき、「福音の喜び」というフランス司教の使徒的勧告が出ました。それを読んでいくうちに段々と気持ちが暗くなってきました。教皇様の勧告が暗いのではなく、むしろその明るさに比べ、わたしが非常に暗く見え

てきたのです。そこには次のように書いてあったからです。

「教会はいつも御父の開かれた家であるように招かれていた。この開放性の一つの具体的なるものは、諸教会がどこでも戸を開けておくことである。つまり、もし誰かが聖霊の促しにしたがって神を探して教会にきた時、閉ざされた門という冷たさに出会わなくてもいいからである。」(47番)

教皇様はなぜこのようなことをおっしゃるのでしようか。それは同じ勧告の中で明

確に述べられています。

「わたしは、ここで表明しようとしていることは、計画的な意味と重要な結果を持っているということを強調したい。わたしはすべての教会共同体が、物事を今のままに放っておかない司教的・宣教的回心の道を推し進めるために必要な努力に取り組むことを願っている。私たちが必要とするのは『単なる運営』ではない。世界のどこにおいても、教会を『常に宣教する状態』にしよう。」(25番)

教皇様はあるインタビューの中で「教会は野戦病院だ

とおっしゃいました。野戦病院は戦場が続いている間は休みがありません。そしてそこではただ傷を癒すことが続いている場所です。教会は父なる神の家として、いつ、だれでもやってきて、神様からのいやしを受けられる場であることを忘れてはならないとおっしゃっているのです。

このような考えは、教皇自身のものでしょうか。第二バチカン公会議の教えに基づいたものです。同公会議は教会を様々なことばで表現していますが、「地上を旅する教会は、父である神の計画に

従って、御子の派遣と聖霊の派遣とに由来するのであるから、その本性上、宣教的である。」(教会の宣教活動に関する教令)2番」と言っているからです。

小教区の主任司祭となつて13年が過ぎようとしています。エス様が望まれる教会の姿は何かと考え、祈り、学んできたつもりです。けれども、まだまだ反省するばかりです。それにしても防犯カメラはどうしたらいいのでしょうか。大名町教会 櫻井尚明神父

☆これからの日本のゆくえー憲法改正問題を切り口としてー福音の視点から

森一弘 著

2013年7月カトリック社会問題研究所主催の夏期セミナーで、「福音の視点から」と題して行われた講演に加筆したもの。

女子パウロ会 発行
税込価格 525円



12月8日、福岡海星女子学院創立50周年を祝うミサ・記念式典が感謝と喜びのうちに行われた。

感謝のミサでは、幼稚園園児・小学生児童・高校生が、手作りのさげものをお供え、50年間、学院を守り育ててくださった多くの方々の支えで今日の喜びの日を迎えることができたことに一同感謝した。また、共同祈願では、これからは学院で共に勉学に励み、神様のことをもつとよく

メラを設けました。これは、何も教会に入ってくる人たちを監視しようということではなく、最近続いて被った損害に正直少々腹が立ち、また責任を感じて、教会堂を守るためには仕方がないと思いついたのです。

でも防犯カメラ導入をほぼ決めたとき、「福音の喜び」というフランス司教の使徒的勧告が出ました。それを読んでいくうちに段々と気持ちが暗くなってきました。教皇様の勧告が暗いのではなく、むしろその明るさに比べ、わたしが非常に暗く見え

が、先人への恩返しであると共に、私たちの心の支えとしたい。この学院に集う幼児・児童・生徒・職員がキリストの教え、遊び、学びを表現しながら、彼らを見る人々に「生きていく証」を示すこととなる。これこそ子どもたちが成長する、新しい発見をする姿と語った。最後に、高校生全員によるハレルヤコーラスが披露され、感謝と喜びのうちに式典を締めくくった。

創立50周年を迎えたこの日から、福岡海星女子学院は「百年への第一歩」を力強く踏み出した。

が、先人への恩返しであると共に、私たちの心の支えとしたい。この学院に集う幼児・児童・生徒・職員がキリストの教え、遊び、学びを表現しながら、彼らを見る人々に「生きていく証」を示すこととなる。これこそ子どもたちが成長する、新しい発見をする姿と語った。最後に、高校生全員によるハレルヤコーラスが披露され、感謝と喜びのうちに式典を締めくくった。

創立50周年を迎えたこの日から、福岡海星女子学院は「百年への第一歩」を力強く踏み出した。

イエスの言葉には、だれにでも通じる力強いメッセージがあります。若者と、若者に関わる大人たちに希望と慰めと救いを与える100の言葉集。

ドン・ボスコ社 発行
税込価格 525円

☆「ロザリオの祈り」

本書はより豊かな祈りとするために、ロザリオの起源や目的を理解し、実際に祈るための聖書による黙想と観想、意向づくりのヒントを紹介しています。「学び」「祈る」ための本です。

サンパウロ 発行
税込価格 1268円

☆いつでも共にいてくれるイエスのことば100

サレジオ会日本管区編
浦田慎二郎 監修

筑後にまかれた福音の種が大きく成長 小郡教会が創立50周年を祝う

11月10日(日)小郡教会(主任司祭H・オカロール神父)は創立50周年を祝った。小郡教会は1963年、当時の三井郡小郡町の要請にこたえ幼稚

園を設立した。この園舎の一部屋で、久留米教会の巡回教会として日曜毎に堤敏雄神父が通って、ミサを献げた。翌年小郡教会が設立され、初代主任司祭に岩永義人神父が着任した。ミサにあずかる信者は数名であったが、現在、信徒数340人に成長した。

50周年感謝ミサは宮原司教主任司祭で、小郡市長の臨席を得て、信徒約200人で聖堂は埋め尽くされた。ミサの中で堅信式が行われ、16人が受堅し、司教はゴールである天

国に向かつていくことの大切さを諭した。ミサ後、朝からの雨も止み、外で記念写真を撮り、続いて会場を信徒会館に移して祝賀会が行われた。司教が典礼や聖歌隊についての感想を述べた後、主任司祭は実行委員会の労をねぎらい、最後に実行委員長が感謝の言葉を述べた。用意された和・洋・中のご馳走に舌鼓を打ちながら歓談、参加者の中から沖繩三味線を弾きながら島唄が出て、手拍子で祝賀会は大いに盛り上がった。終わりに新たな歩みを踏み出す小郡教会の上に、神の祝福を願いながら閉会した。

カトリック正義と平和全国集会福岡大会 2014年9月開催を目指して準備中

2014年9月13日(土)から15日(月)まで、カテドラル大名町教会を主会場として、「いのちを大切に」する社会を目指して「見て、聞いて、知って、働く」をテーマとし、カトリック正義と平和・全国集会福岡大会(実行委員長中村彰神父・戸畑・若松教会)が開催される。その準備のため第5回実行委員会が、12月15日、カテドラルにて20数人のメンバーが集い行われた。この全国集会是、毎年日本の各教区持ち回りで開催されているものであるが、福岡を開催地とするのは、今回が初めてとなる。現段階で内定していることは、大会第1日目には、カンシ教(韓国済州島)の基調講演、2日目に、ミニ講演としてマイケル・シーゲル神父(神言会)、午後からは、福島支援、憲法問題、障害者や滞日外国人等をテーマにした分科会、あるいは現地学習として玄海原発、水俣、筑豊(炭鉱)等福岡教区にとっても身近なテーマが挙げられている。また、3日目には大塚司教(京都教区)と奥田知志牧師(北九州

ホームレス支援機構)の対談が予定されている。実行委員会としては、本大会はあくまで正義と平和協議会のメンバーのための大会ではなく、現代の私たちの社会の中で起こっている問題として、すべての信者を対象とした大会であるため、広く司祭をはじめとして全ての信徒の参加を呼び掛けている。しかしながら、このような大規模の全国大会を開催するのは、教区としてははじめてなので、手探りの状況が続いてきたが、大会の趣旨及びテーマ、講師あるいは分科会や、現地学習会等もほぼ形を整え、いよいよ来年の開催に向けて、本格的に動き始めたところである。15日の実行委員会では、委員のメンバーのみならず、青年会や女性の会、修道者の参加もあり、多方面から熱い議論が交わされた集まりとなった。「貧しい人々、虐げられている人々を大切に」する教会ではないと、これからの教会の発展、展望はない」という教皇フランシスコのお言葉に従って、教区を挙げて、司祭、修道者そして信徒が様々な形で本大会に関わり、今後の教会の方向性を見出すような大会になることを願って、準備が進められている。

「わたしは、ここで表明しようとしていることは、計画的な意味と重要な結果を持っているということを強調したい。わたしはすべての教会共同体が、物事を今のままに放っておかない司教的・宣教的回心の道を推し進めるために必要な努力に取り組むことを願っている。私たちが必要とするのは『単なる運営』ではない。世界のどこにおいても、教会を『常に宣教する状態』にしよう。」(25番)

教皇様はあるインタビューの中で「教会は野戦病院だ

BOOK 読書専科

☆「ロザリオの祈り」

本書はより豊かな祈りとするために、ロザリオの起源や目的を理解し、実際に祈るための聖書による黙想と観想、意向づくりのヒントを紹介しています。「学び」「祈る」ための本です。

サンパウロ 発行
税込価格 1268円

☆いつでも共にいてくれるイエスのことば100

サレジオ会日本管区編
浦田慎二郎 監修

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える III

福岡地区聖書講座

年間テーマ：旧約聖書に親しむ
日時：1月26日(日) 14:00～16:00
講師：森山信三神父(西新教会)
テーマ：旧約聖書を読むにあたって(旧約の旅への準備)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：～イエス・キリストに従って歩む教会～
開かれた共同体へ：「使徒たちの宣教」
第1回 イエス・キリストの共同体の誕生
～「使徒たちの宣教」の紹介を含めて～
日時：1月19日(日) 14:00～16:30
講師：寺浜亮司神父(直方・田川教会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

キリスト教一致祈祷会

日時：1月19日(日) 17時
場所：日本バプテスト連盟 福岡基督教会
福岡市中央区荒戸2-5-16
司式者：泉清隆牧師(日本バプテスト連盟野方キリスト教会)
説教者：大塚了平神父(光丘教会)
主催：福岡キリスト教一致祈祷会実行委員会

麦の穂会主催青年黙想会

日時：1月25日(土) 9時30分～26日(日) 15時
場所：イエズス会立山修道院(長崎黙想の家)
対象：キリスト者青年男女
会費：7,000円
申込・連絡先：☎095・821・4577立山黙想の家
締切：1月20日
主催：麦の穂会(7つの修道会と信徒が協力して、青年のための黙想会や交流を企画・実施する働きです)

1日黙想会

日時：2月23日(日) 9:30～15:00
講師：シスター上野寿枝
テーマ：「幸せですか」「宝探し」「幸せの価値観」
場所：福岡黙想の家
費用：1,500円
申込・問合せ先：明治学園事務室シスター高橋
☎093(881)2861

震災のための祈りのリレー

日時：1月11日(土)
場所：聖パウロ会福岡修道院
ミサ 6:30 夕の祈り 18:30
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

福島家族支援のための
ワイン販売のお願い

福岡女性の会では、平成26年度に福島家族支援「博多にきんしゃ〜い2」保養プログラムを計画しています。
のワイン販売は「キラキラ星ネット(震災支援団体)」を通してお招きする家族の旅費の一部になります。

赤白ワイン 1本2,000円

詳しくは、各小教区・地区女性の会までお尋ね下さい。
連絡先 090-6468-6841 福島家族支援実行委員会

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

皇大使の12月に来福された教
入るものでした。お話しを随
所、教皇様のお言葉が引用さ
れて、大使も教皇様の精神を
生きておられると感じまし
た。著名な日本の雑誌の新年
号にも、教皇様のお考えが溢
れていて、今後の教会に大き
な希望を感じました。今月号
から白浜師の「典礼シリーズ」
にかわって櫻井師の「第2バ
チカン公会議による教会」シ
リーズが始まります。ご期待
ください。

編集後記

案内板

会合と催し

1月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 1月

※2013年12月30日(月)～2014年1月3日(金)は休館です
1月11日(土)～13日(日) 福岡教区クルシヨ (空室0)
18日(土) 福岡チェナクルム
2月
10日(月)～11日(火) 聖マリア在俗会黙想会 (空室10)
11日(火)～15日(土) 御受難会黙想会 (空室0)
15日(土)～16日(日) 山口島根地区信者養成研修会 (空室0)
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：聖母マリアと共に祈る
・日時：1月9日(木) 10時～15時
・内容：天使からのお告げをお受けになった時の聖母マリアの祈り
指導者：フランコ・ソットコルノ神父(真命山院長)
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：1月4日、18日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(水) 神の母聖マリアの祭日・ミサ司式 元旦
世界平和の日
↑C・バスチ[2002年黒崎教会]
3日(金) 初金曜日・サーリスの集い
5日(日) 主の公現の祭日
直方教会堅信式
福岡地区女性の会新年の集い
9日(木) 常任司教委員会(東京)
11日(土) 福岡教区クルシヨ(～13日)
12日(日) 主の洗礼
↑ヨゼフ竹森道[2011年久留米教会]
13日(月) 成人の日
18日(土) キリスト教一致祈祷週間(～25日)
19日(日) 年間第2主日
大名町教会堅信式
福岡キリスト教一致祈祷集会
聖パウロの回心
カトリック幼稚園中堅教職員養成講座
年間第3主日
カトリック児童福祉の日・献金
聖母の騎士佐賀大和修道院研修会
司祭総会(～28日)
↑R・オウエンス[2007年菊池教会]
↑V・マクナリー[2003年島崎教会]
2月
2日(日) 主の奉獻の祝日
↑マテオ山川辰幸[2002年二日市教会]

■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い
(日時) 毎週月曜11時(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾

◆福岡ホスピスの会第88回勉強会
(日時) 1月12日(日) 14時～16時(場所) カトリック大名町教会4階(テーマ) 遺言の書き方(講師) 杉原知佳弁護士(対象) どなたでも(参加費) 一般1000円 会員500円(問合せ先) ☎092・791・7532

◆虹の会 子どもを亡くした親の会第58回定例会
(日時) 1月18日(土) 13時30分～16時30分(場所) カトリック大名町教会3階(参加費) 600円(茶菓子代含む)(対象) 子どもとの別れを体験した方(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田

◆在世フランシスコ会集会
(日時) 1月19日(日) 14時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在会集会所(指導) エドウィン神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

◆カトリック正義と平和全国集会福岡大会実行委員会
(日時) 1月19日(日) 14時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在会集会所(指導) エドウィン神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上のいのちを支えます！
ホームレスの方に手作りお昼ごはん・毎週火曜日10時30分～越冬期ホームレス支援夜回り・毎週金曜日20時

◆カルメル在会集会
(日時) 1月20日(月) 10時30分(場所) 福岡女子カルメル会テレス家の家(内容) ミサ・講話聖テレジア「小作品集」(指導) 今泉神父(カルメル会)(問合せ先) ☎095・828・2353 鳩池

◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 1月21日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(内容) 聖体賛歌他(問合せ先) ☎096・380・5686 堺

北九州

3日は休み●路上からアパートに入居した方を訪問・第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コリス神父

◆北九州召命を共に祈る会
(日時) 1月9日(木) 14時(場所) カトリック小倉教会(内容) 祈りとミーティング(指導) 杉原寛信神父(新田原教会)(連絡先) ☎0949・24・9905 藤井

◆小倉祈りの集い
(日時) 1月24日(金) 13時30分(場所) カトリック小倉教会(指導) ガブリエル神父(御受難会)(連絡) ☎090・3985・5209 松田

◆佐賀祈りの集い
(日時) 1月4日(土) 10時(場所) 佐賀カトリック会館(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 1月16日(木) 10時(場所) 健軍教会(問合せ先) 健軍教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

◆カトリック看護協会福岡支部例会
(日時) 1月19日(日) 13時30分(場所) 熊本みこころ病院(内容) スピリチュアルケアの学びと分かち合い(問合せ先) ☎096・352・7181 シスター竹内

カトリック正義と平和
全国集会福岡大会

テーマ：いのちを大切にする社会を目指して
一見、聞いて、知って、働く
日程：2014年9月13日(土)～15日(月)
場所：カトリック大名町教会を中心に

セントポールFUKUOKA
年末年始の営業案内

12月29日(日) 14時まで営業
12月30日(月)～1月3日(金) 休業
1月4日(土)～ 通常営業

COSMOS

スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院

平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
Tel.092-884-0134
ベトロ 生熊 吉吉



Ave Maria, Mater Dei!

神の母聖マリア、
世界の平和のために
今もいつまでもお祈りください

1月6日より営業いたします。

メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930